

2023 年度第 7 回学校関係者評価報告書

実施日：2023 年 6 月 2 日（金）

北斗会看護専門学校
学校関係者評価委員会

2023年度 第7回 学校関係者評価委員会

I. 学校長挨拶

- ・昨年度までは重点目標に感染対策を挙げ取り組んでいたが、今年度はコロナ対策がはずれ、新たな取り組みへの時が来たと喜んでいる。
- ・今年卒業した44回生はコロナの中にスタートし、コロナの真ただ中で影響を受けた学生。42名が入学し、42名が卒業、42名が国家試験に合格し、得難い経験ができた。
- ・本校の運営にあたり、外部から忌憚のない評価をいただき、見直す貴重な機会としたい。

II. 委員及び参加者紹介

<学校教職員>

学 校 長	高 木 宏	学 校 事 務 長	井 上 英 二
副 学 校 長	石 川 美 佐 子	教 務 主 任	並 川 好 美
講 師	市 山 喜 代 美		

<委 員>

学校周辺の地域に精通する地域住民または地元企業関係者として
未来SS義塾 豊中市保護区保護司会 地域での育成活動を行われている
山本 和央 様

関連業界等関係者として学校周辺の病院施設また、卒業生の受け入れ実績を有する病院の管理者である
公益財団法人唐澤記念会 大阪脳神経外科病院 師長
村松 宏美 様

合計7名で構成されています。よろしくお願いいたします。

III. 学校評価の事業計画及びスケジュールについて資料に基づき説明

—資料に基づき2023年度の学校評価のスケジュール概要説明—

IV. 2022年度自己評価に基づく2023年度事業計画について

1. 今年度は新カリキュラムと旧カリキュラムで運営。授業計画の発展に向けて体制を整える。教員一人一人のセルフマネジメント能力の向上を期待し、学生の基礎学力の向上に向けて取り組みたい。2023年度重点目標「全ての学生と教員が看護は楽しいとイキイキする学びの場～看護専門職としての学生一人一人を大切にしたい教育～」を挙げて取り組む。
2. 新型コロナウイルス感染症により、思いやりと感性を育む教育として大切にしてきた学校行事が、3年に渡り縮小、中止されてきた。今年度は学校行事を再開する。
3. 2023年度は中期目標5か年計画の5年目となる。「定員40名を満たした魅力ある学校づくり」の数値目標は達成したものの、准看護学校の閉校や2年課程の閉校は続き、全国的な学生充足率の低下が進んでいる。本校では定員を満たし、受験者倍率は2倍前後であるが、教育の質の確保とともに、学生数を確保することは課題である。数値目標として、より積極的な働きかけが必要と考える。
 - 1) 受験者倍率1.5倍を目指し、学校の魅力をより多くの人に伝える取り組みの継続
 - ・新たなパンフレットの作成を各校、訪問病院等に配布
 - ・HPを有効活用ーリモートオープンキャンパス、学校生活のUP
 - ・大阪府看護学校協議会の学校PR動画への参加
 - ・様々な学校紹介への参加
 - 2) 学校訪問の拡充
 - ・法人と協力し学生及び将来病院職員となる奨学生のアナウンスの機会を増やす
 - ・入学生の出身校への訪問…学生から情報を得て学校の状況を踏まえて訪問
 - ・学生の様子を伝える機会を増やす
4. キャリア教育の充実
 - 1) 希望者就職100%
 - 2) 大阪府内の就職率80%
 - 3) キャリアガイダンスの充実とキャリアデザインサポート（キャリサポ）の充実
平均年齢が高い本校の学生にとっても、就職活動が不安なく行えるように相談が気軽に行え、また、面接指導や小論文指導など個人への指導を充実させていく。

V. 重点目標の説明 ー資料に基づき重点目標の概要説明ー

全ての学生と教員が看護は楽しいとイキイキする学びの場
～看護専門職としての学生一人一人を大切にした教育～

**病をもつ“ひと”をみる人のための 10か条
を有する学生を育て、活力のある学校づくりを目指します。**

これからも選ばれる学校となるために「全ての学生と教員が看護は楽しいとイキイキする学びの場～看護専門職としての学生一人一人を大切にした教育～」を重点目標に教育内容の充実を図り、教職員が一丸となって発展させていきたい。

そのために①授業計画の立案、授業評価を教員間で行い情報の共有と教育内容の発展を図る。②学校行事を従来に近づけ、学生間、学年間の交流を図り思いやりと感性あふれる教育場面の充実を図る。③基礎学力の向上に向けて支援する。④教員一人一人のセルフマネジメント能力の向上により教育の質を高めることをあげ、方針・目標として取り組みたい。

方針・目標

1. 授業計画の立案、授業評価を教員間で行い情報の共有と教育内容の発展を図る。
2. 学校行事を従来に近づけ、学生間、学年間の交流を図り、思いやりと感性あふれる教育場面の充実を図る。
3. 基礎学力の向上に向けて支援する。
4. 教員一人一人のセルフマネジメント能力の向上により教育の質を高める

VI. 意見交換

(市山) 重点目標の1の計画で「教育観」「教材観」「学生観」を挙げて教員間で共有するとあるが、他校にはない「教育観」としているねらいはどのようなところにあるのか。

(石川) 「指導観」の表現に修正。内容はどのように育てたいかを教員間で共有し、科目の学習を積み上げていくことを教員が意識できるようにすること。

(市山) 学年間の学びの機会を共有するとしているが、どのような時期にどのようなことがなされるか。

(石川) 例えば、「医療安全」という授業では卒業前になるが、医療処置の体験学習を行う中で、2年生から1年生に伝えるという時間を作っている。昨年、一昨年の様子から、2年生から教わることは1年生にとってもモチベーションが上がる機会になった。本年度までの対応で1年生と2年生の講義時間の始まりをずらしているため、同じ時間での講義が計画しづらく、今年は何ができるか、模索中である。

(市山) 自主グループでの学習グループについて、学生にも聞いてみたが、校内に様々な問題が掲示されていて、クラスの前に貼ってあった「北斗寺子屋」というのが印象的だった。どのようにして学生のモチベーションをあげているのか。

(石川) 従来から国家試験前には校内のいろんなところに問題を掲示して、学習に取り組むよう意識づけすることは行っていたが、今年は2年生に進級すると同時に始めた。卒業生が全員合格したといういい意味でのプレッシャーとなり、モチベーションが上がってくれることを期待したい。

(村松) このような取り組みは大事なことだと思う。先生方の支援があつてのことではないかと思う。

(山本) 「寺子屋」としているそうだが、どのように行われているか。私の塾でも様々な子どもたちがおり、勉強ができる子、できない子、苦手と思う子も1/3程度おり、差が大きい。学習ができない学生にはどうしているか。

(石川) 学生同士教え合いをしている。誰かが講師になり、教えるなど。それでも難しい学生はいるがそういった学生は個別の指導も必要。

(並川) 学力不足の学生には声をかけて、朝少し早く登校、夕方少し残るなどして個別に対応している。今年は留学生も1名おり、日本語が少し難しいかなと思われるが、個別に対応している。

(山本) 学力不足の学生に対してはやはり、個別のアプローチが必要でしょう。学生も国家試験に全員合格となるとプレッシャーがかかるが、先生方もプレッシャーがあるでしょうね。

(並川) そうかもしれませんね。

(山本) 数値目標で大阪府下就職率80%としているが、遠方からの受験生が増えると難しいところがあるのではないか。

(石川) 大阪府下の看護学校は、大阪府下で修業する看護師を育成するために補助金をいただいているという仕組み。そこで、80%という目標はあるが、それが第一義的に重要ということではない。まずは、希望者就職は100%とすることが重要。本校の特徴は平均年齢も高く、大きな病院となると、年齢制限があるとおもわれる病院もあるため、就職活動の難しさがある。しかし、全ての学生が就職できるために、相談にのり、時には面接指導、小論文の指導など様々なことに教員が対応にあたっている。授業でもキャリアマネジメントという授業があり、接遇やキャリアデザインを含めて、キャリアアップしていけるようにサポートを考えている。

(山本) セルフマネジメント能力の向上を目標にあげているが、リフレクション力を高めるというのはどのようなことか。

(石川) 自らを振り返ることができる力を高めたいという事。そこから、より成長できることを期待している。

(並川) 学生もそうですが、フィードバックできることで、スキルを上げていくこと。

(村松) 学校案内やパンフレットなどどのように作成されたのか。これらを見ると学生が生き生きしている様子が伝わり、とても大事なことだと思う。先生方の生き生き感も伝わってくる。手作り感がとてもいい。

(石川) 事務の者が作ってくれている。とても熱心に作成している。学生も協力的。

(市山) しっかりしたパンフレットや資料も大切ですが、このように手作り感が伝わり、温かい気持ちがでていて親近感がわいてとてもよい。

(井上) 今年も学校をいくつか回ったが、准看護学校の先生方にも学校の様子をお伝えした。学生からも准看護学校の先生方に本校での様子を伝えていたようだった。学生の生の声が先生方にも伝わっており、これからも学生の生の声で本校の様子が伝わるとよいと思う。

大阪府外の学生も大切にして入学希望者の確保をしていきたい。

地域によってそれぞれの准看護学校の特徴があり、状況に応じてそれぞれに働きかけていきたいと思う。

VII. 学校長による総括

ここでいただいたご意見については今後も協議し、重点目標の達成に向けて努力をしていきたいと思う。

VIII. その他

次回の会議日程

2024年3月21日(木) 14:00 本校図書室にて 会議予定。